



# 学校だより

4月号  
横浜市立桜台小学校  
令和2年4月7日発行

## 心に火をつける

校長 小宮 健

学園通りに春の到来を告げた校舎脇の桜の木々も少しずつ新しい緑へと彩りを変え、暖かい風が心地よい季節となりました。

昨年度3月からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策における取組では、地域・保護者の皆様のご理解とご協力で深く感謝いたします。おかげさまで79名の卒業生が未来への夢と希望を胸に巣立って行く姿を見送ることができました。中学校という新たなステージでの活躍を期待しています。

4月6日、期待に胸を膨らませながら桜台小学校へ入学した76名の新入生。進級した頼もしい在校生と合わせて、全校児童478名で新年度が始まりました。

保護者の皆様、お子さまのご入学・ご進級、誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。また、今回の入学式には地域の皆様にご臨席を賜ることが叶いませんでしたが、温かいお言葉をたくさんいただきました。厚く御礼申し上げます。

感染防止対応における厳しい状況の中で始まった令和2年度。始業式翌日の4月8日（水）から20日（月）まで一斉臨時休業となり、今後も学校行事などの内容変更、延期や中止など様々な対応が想定されます。引き続き子どもたちの健康・安全を最優先に据え、活動の優先順位を考慮しながら取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

さて、新年度を迎えるにあたり、私が以前先輩から教わり感銘を受け、これまで大事にしてきた教育観や目指してきた教師像を表した言葉を教職員全員と共有しました。

凡庸な教師はただしゃべる

よい教師はわかるように説明する

優れた教師は自らやってみせる

偉大な教師は子どもの心に火をつける

ウィリアム・アーサー・ウォード

(アメリカの教育者 1921~1994)

子どもの心に火をつけていく（やる気にさせる…本気にさせていく…学習意欲が高まる）ためには、教師自身が火種をもっていなければなりません。その火種は教師独自のものです。子どもたちの学びの姿にあてはめれば、学習意欲の高まりは学力の向上に直結するといっても過言ではありません。

今年度も学校教育目標「自分の思いや願いを実現しようとする子」の具現を目指し、桜台小学校の子どもたちにとって、学校生活が楽しく成長の喜びにあふれたものになりますよう、教職員がワンチームとなって頑張ります。

地域の皆様、保護者の皆様、ご理解とご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。